

上田 ゆきこ

の議会活動レポート **Vol.36** 2015年4月17日

33歳

mail : info@uedayukiko.jp URL <http://www.uedayukiko.jp>

改革ぶんきょう TEL/FAX 03-3942-4888 〒112-0003 文京区春日1-16-21-シビックセンター22階

無所属



いつも“間”にいる存在として ～区議会議員のお仕事～

上田ゆきこは、区議会議員のお仕事とは様々な地域ニーズの「間をつなぐこと」だと考え、働いています！

1. 住民と行政の間をつなぐ

～住民の声で暮らしやすいまちをつくる～

区議会議員の最も大事なお仕事は、区民の代表として、みなさんの普段の暮らしの中の「何か変だな。困ったな」というお声を区政に届けることです。そのお声のおかげで、文京区の施策が変わり、さらには社会全体がすてきに変わっていきます。

議員や議会に、もっともっと皆さんの声をお寄せください。

2. 住民と住民の間をつなぐ

～「互助」「共助」「近助」のサポート～

文京区にも少子高齢化、都心における地域の希薄化など、さまざまな課題がありますが、区民自身の力で解決する力を強めていくことが、豊かな地域社会をつくるポイントだと考えます。

町会・商店会支援や新たな公共プロジェクトなど、いろいろな協働の手法を駆使して地域の助け合い機能を高めていきます。

3. 行政と行政(関係機関)

の間をつなぐ

～住民目線で縦割り行政を解消する～

複合的な課題を抱えた区民の方のご相談に、たらいまわしなくワンストップで対応することができる。まちの変化をキャッチして、区役所内の迅速な連携・調整で、区民ニーズにタイムラグなく応える。そんな公共サービスが実現するよう、連携すべき関係機関をスムーズにつなげるべく動いていきます。

このまちの答えを 一緒に探しましょう！

今だけよければいい政治。多数の人がよければそれでいいという政治。全国一律の地域の実情に合っていない政治。それでは結局、誰のためにもならない政治になると思います。上田ゆきこはそんな政治を変えたい。だから、このまちの答えをあなたと一緒に探していきます。

あなたの
想いを
聞かせて
ください。

地域づくりは あいさつから！



上田ゆきこプロフィール

昭和56年生まれ 音羽在住 富山県立高岡高校卒業 お茶の水女子大学文教育学部卒業 お茶の水女子大学大学院修士課程修了(人文学修士) 平成19年文京区議会議員初当選(2473票3位) 平成23年2期目当選(3277票1位) 自治制度・行財政システム調査特別委員会委員長 建設委員会理事 地域振興・まちづくり調査特別委員会委員

ある朝、議会活動レポート33号を駅で配っていました。「おはようございます」とあいさつを交わして、突然、胸にジーンと来たことがあります。思えば、その人は私が政治活動を始めた8年前も、その駅、その場所、その時間に、あいさつを返してくださったなあ。私は毎日、同じ駅の同じポイントでレポートを配るわけではないけれど、この人はきっと毎日同じ時間に同じ道を通い、同じ電車で出勤されているのかと想像すると、それがとても尊く感じられました。

レポートを手に取って政策を読んでいただければ嬉しいですが、そうでなくても、「おはようございます」とあいさつを交わすことで、このまちに暮らすたくさんの人たちとつながっていけるきっかけになるかもしれない。だから、いつも笑顔であいさつをしていこうと思います。

これからは行政サービスだけではなく、住民同士のつながりがこのまちの暮らしやすさを作っていく時代です。防災や地域包括ケアシステムなどの地域づくりも、第一歩は「あいさつ」から始まると思っています。

第8回 区政セミナーのご案内

「地域包括ケアシステム」について考える

日時:平成27年5月22日(金) 19:00～21:00

会場:文京シビックセンター5階会議室A

定員:40名(先着順) **参加費無料!**

●出前講座●

「文京区における

地域包括ケアシステム構築のためのとりくみ」

文京区認知症・地域包括ケア担当課長

●研究発表●

「地域包括ケアシステム機能向上のための提言

介護予防を中心に

～保健師の活躍が日本を変える～」

東京大学公共政策大学院・医療政策コミュニティ

(H-PAC)4期 地域包括ケア実践班

●グループワーク●

「地域包括ケアシステムを機能させるための地域づくり」

なぜ、地域包括ケアシステムか。

■ 団塊世代全員が75歳以上になる2025年を目途にその構築が求められている「地域包括ケアシステム」に関する重点施策が文京区の平成27年度予算にも多く計上されています。

■ 議員になって8年、ここ数年は家族や地域の方たちの「古い」に直面する機会が多く、一緒に過ごした時間が長いからこそ、元気だった頃の思い出があるからこそ、その変化にせつない気持ちでいっぱいになる瞬間があります。大好きな周りの人たちが長く、楽しく、このまちで生きてもらえるようなしくみを作っていきたいと思い、「地域包括ケアシステム」の研究に参加しました。

■ 今年度の区政セミナーで、その研究チームメイトと一緒に研究活動の中間発表をさせていただきたいと思えます。

上田ゆきこが考える

地域包括ケアシステムのポイント!

- ① 認知症の見守り発見ができる地域づくり
- ② 地域・医療・介護・住宅の切れ目のない支援
- ③ 在宅医療の増にも対応する地域医療連携
- ④ 文京区に住み続けられる安心な住まい(居宅)

第9回 区政セミナーのご案内

「日本の変わらなさ」を地域から変える読書会

日時:平成27年5月23日(土) 9:30～12:00

会場:文京シビックセンター5階会議室A

定員:20名(先着順) **参加費無料!**

●講師● 社会学者 開沼博氏(著者)

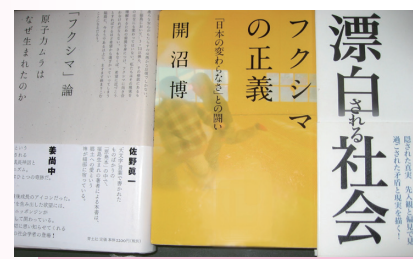
開沼博氏のプロフィール

1984年福島県いわき市生まれ。東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特別研究員。

(オフィシャルサイトより)

●課題図書●

- ①「フクシマ」論～原子カムラはなぜ生まれたのか。
- ② フクシマの正義～「日本の変わらなさ」との闘い～
- ③ 漂白される社会



区政セミナーとは…

毎年5月に区民のみなさんと一緒に学ぶ公開セミナーです。今年はより主体的にご参加いただくために、グループワークと予習必須の読書会を企画しました。住民参加の政治を目指して、これからもこのセミナーを続けていきたいと思えます。

(これまでの開催実績)

- 第1回「模擬事業仕分け」
- 第2回「文京区の地域防災について考える」
- 第3回「アベノミクスを世界はどう見ているか」
- 第4回「文京区のめざす新たな“協働”のかたちとは」
- 第5回「世代格差問題と若者の投票率向上策について」
- 第6回「後悔しない予防接種・社会を守るワクチン」
- 第7回「新型インフルエンザ発生!どうする?どうなる?」

どちらのセミナーも、事前にメールかFAXで参加希望の旨をご連絡ください。

メール: info@uedayukiko.jp

FAX: 03-3942-4888

